

## 表紙・目次等

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a>
雑誌名	苦難の行進 金正日時代の政治経済展望
発行年	1997
出版者	アジア経済研究所
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2344/00009665">http://hdl.handle.net/2344/00009665</a>

アジア研究ピックアップレポート  
1997.1

# 苦難の行進

金正日時代の政治経済展望

林 一信・小牧輝夫 編

アジア経済研究所

アジ研トピックリポート

-----  
1997・1

# 苦 難 の 行 進

金正日時代の政治経済展望

アジア経済研究所

# CONTENTS

エグゼクティブ・サマリー

第1章	北朝鮮をめぐる国際関係	1
第1節	朝鮮半島の国際関係	1
第2節	周辺4カ国との外交関係	1
1.	米韓よりも緊密な？米朝関係	1
2.	ヨリが戻った？対中国関係	3
3.	水入り後、しきり直しの日朝関係	5
4.	失地回復を狙うロシア	7
第3節	南北関係	8
1.	凍りついた南北対話	8
2.	経済交流も中断状態	9
第4節	多国間国際問題	9
1.	食糧支援	9
2.	KEDOの軽水炉建設	10
3.	4者会談	10
4.	羅津・先鋒自由経済貿易地帯	10
第2章	金正日体制の現状と展望	11
はじめに		11
第1節	金正日体制の現状	12
1.	金正日書記は実質的にトップ	12
2.	党、軍、政の実権掌握	15
3.	正式就任遅延の理由	17
第2節	金正日体制の展望	18
1.	金正日体制が正式発足へ	18

2. 当面の政治は安定 .....	19
3. 現実的な政策対応の可能性 .....	21
4. 関係諸国は「安定」指向 .....	23
5. 不安定要素多い長期展望 .....	25
<b>第3章 崩壊する計画経済体制 .....</b>	<b>27</b>
第1節 経済の現況 .....	27
第2節 失敗した第3次7カ年計画 .....	29
1. 対ソ貿易の急減 .....	29
2. 深刻化する国内経済情勢 .....	31
第3節 なぜ失敗したか .....	34
1. 対ソ貿易の急減が危機の引き金 .....	34
2. 「自立的民族経済論」の欠陥 .....	35
3. 経済不振の顕在化 .....	37
第4節 今後の展望 .....	39
1. 金正日論文と現実の政策展開の違い .....	39
2. 今後の展開 .....	40
<b>第4章 自立経済を脅かすエネルギー問題 .....</b>	<b>43</b>
はじめに .....	43
第1節 エネルギー生産の現状 .....	43
第2節 エネルギー問題の原因 .....	47
第3節 原子力発電の開発と今後のエネルギー問題 .....	50
(参考) 金日成「社会主義経済建設において新たな革命的転換をもたらすこと について」(経済部門責任幹部協議会で行なった結論 1994年7月6日)(抜粋)	

<b>第5章</b>	<b>悪化する食糧事情</b>	53
第1節	北朝鮮の食糧事情とは	53
第2節	最近の食糧需給状況	53
第3節	穀物の輸入状況	58
第4節	食糧生産量の検討	58
第5節	展望	60
<b>第6章</b>	<b>問題点が多い羅津・先鋒自由経済貿易地帯</b>	61
第1節	自由経済貿易地帯の発足と目標	61
1.	国際物流の拡大が第1目標	61
2.	画期的な対外開放政策	61
第2節	地帯発足の背景	62
1.	危機的経済からの脱却	62
2.	豆満江開発構想が推進役	62
3.	中国経済特区の教訓	63
4.	一段落した在日商工人投資	63
第3節	地帯の現況 東京23区並みの面積	63
第4節	地帯の開発計画 産業インフラ整備が当面の目標	64
第5節	投資実績 投資は6億ドル規模	66
第6節	問題山積する投資環境	66
1.	評価できる外資誘致制度	66
2.	明暗の労働力事情	67
3.	国内からの原料調達は可能か？	67
4.	難しい輸出増大	68
5.	進まないインフラ整備	68
6.	最大の阻害要因、カントリーリスク	69
7.	韓国企業の進出も当分間、困難	70
第7節	課題が多い羅津・先鋒地帯	70

1. 投資環境の大幅改善が重要 .....	70
2. 必要な情報開示 .....	71
3. 不可欠な南北朝鮮の緊張緩和 .....	71
4. 国内経済とのリンケージ .....	72
資料（地図・年表） .....	75

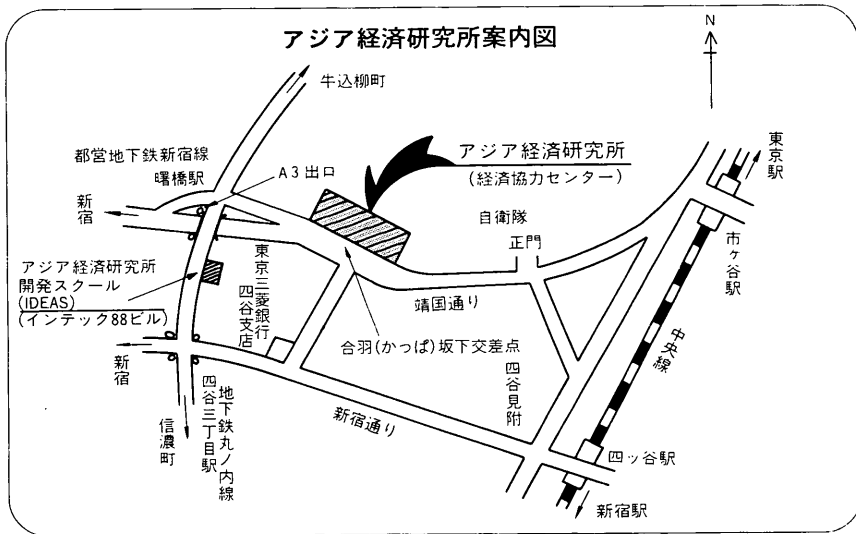
〈執筆者〉

第1章	林 一信	九州国際大学国際商学部教授
第2章	小牧 輝夫	アジア経済研究所動向分析部研究主幹
第3章	野副 伸一	亜細亜大学アジア研究所教授
第4章	谷浦 孝雄	新潟大学経済学部教授
第5章	櫻井 浩	久留米大学経済学部教授
第6章	花房 征夫	アジア経済研究所地域研究部研究主幹

# お問い合わせの手引き

☎03-3353-4231(代) FAX 03-3226-8475

- ◆アジア経済研究所の活動全般, 出版物,  
講演会, 講師の派遣について …………… 広報部広報課 (内線612)
- ◆賛助会について …………… 広報部賛助会担当 (内線611)
- ◆図書館の利用および発展途上国の  
資料情報について …………… 資料・情報相談室 (内線458)
- ◆統計資料について …………… 統計調査部統計企画解析課 (内線511)
- ◆統計データの検索・製表のお申し込み  
…………… 統計調査部電子検索課 (内線530)
- ◆委託調査のお申し込み …………… 調査企画室 (内線400)
- ◆開発スクール …………… 開発研修室 (内線755)



## アジア経済研究所

- 都営地下鉄新宿線曙橋駅 (A3出口) から左手へ徒歩3分
- 都営地下鉄丸の内線四谷三丁目駅から徒歩10分
- JR四ツ谷駅四ツ谷口から徒歩15分
- JR市ヶ谷駅から徒歩15分

## アジア経済研究所 開発スクール (IDEAS)

- 都営地下鉄新宿線曙橋駅 (A4出口) から徒歩5分
- 都営地下鉄丸の内線四谷三丁目駅 (出口4) から徒歩5分



ト 8 - 0 1 苦難の行進—金正日時代の政治経済展望—

---

発行 1997年 1月 1日  
発行所 アジア経済研究所  
〒162 東京都新宿区市谷本村町42  
電話 03 (3353) 4231 F A X 03 (3226) 8475

---

無断複写・複製・転載等を禁じます。

制作 (有) 騰光社